

【地域連携推進会議 議事録】

会議名：令和7年度 第1回 地域連携推進会議

事業所名：共同生活援助（グループホームまんまん）

開催日時：令和8年2月27日（金） 15時00分～16時30分

開催場所：グループホームまんまん B棟ホール

1. 出席者

外部構成員

- ・ 市内社会福祉法人理事長
- ・ 市内 NPO 法人理事長
- ・ 地元町内会長
- ・ 入居者ご家族
- ・ 入居者

事業所側

- ・ 施設長
- ・ 部長兼サービス管理責任者
- ・ 係長兼グループホーム管理者
- ・ 事務係長

2. 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ グループホームの概要（定員・住居数・支援体制）
- ・ 入居者の状況、日常の様子、年間行事
- ・ 入居者満足度アンケート結果
- ・ 事故・ヒヤリハットの報告
- ・ BCP(業務継続計画)の取り組み
- ・ 施設会計報告書(資金収支明細書、事業活動明細書、貸借対照表)

3. 開会・挨拶（施設長）

入所施設で参加していただいた方も引き続きグループホームの地域連携推進会議に参加いただきありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

4. 議題（部長兼サービス管理責任者より説明）

1. 施設等やサービスの透明性・質の確保、権利擁護について

- ・ 事業所の概要説明
- ・ 入居者の状況
- ・ 日常生活の様子、年間行事
- ・ 入居者満足度アンケートの結果
- ・ 事故、ヒヤリハット報告
- ・ BCP(事業継続計画)の取り組み

2. 経営状況について(施設長より)

施設会計報告書説明…グループホームは法人内生活介護事業所と立体的な運営を行っている。その為、単体の会計を見ましても全体的な運営を行っているので参考程度に見て下さい。グループホームの資金収支明細書から説明。およそ人件費支出で50%。かなり低い数値であるがグループホームの業務を一部生活介護事業所職員が兼務している兼ね合いで低く見える。次にグループホームの事業活動明細書について説明。資産状況を見るものです。グループホームだけで見ると黒字で健全な定員に見えますが、入所施設で説明しました通り、建替え、更にグループホームも15年経っていて後25年経ったら建替えという積み立てを考えていくと人材にお金を掛けていけない、物価高にも対応していけないといけない部分も多くあります。今後の検討課題でもあります。貸借対照表は入所施設で説明した内容と同じです。

3. 協議意見・質問

市内社会福祉法人理事長様より

質問①：充実計画について

応答：建て替え費用も含めることができた。この部分では入所施設、生活介護事業所、グループホームは収益が出ているが法人内介護保険施設(地域密着型特別養護老人ホーム・有料老人ホーム)が赤字なので収益が法人としては出てない為、資産は増えてないという現状。充実計画は資産が大きく運営資金を超えた場合は提出義務があったと思うが、有料老人ホームを建てた際に資産状況がかなり悪化してしまい提出しなくてよくなった。現時点ではたてなくてよい(言われていない)。

質問②：70歳以上の方がいらっしゃるという事だが市町村によっては65歳から介護保険に移行ですよ。

応答：市町村によって違っている。そこに差別化が出ている。共生サービスとして制度化されているが熊本は進んでいない。高齢化、重度化が進んでいる。対象者が増えているのでケアマネやご家族と交えて話し合いをしていこうかと管理者と話をしています。簡単にはいかないが長期で考えていけないといけないと考えています。市町村格差がどうにかならないかと思えます。

発言：私も市町村で対応が違う事に対して改善を熊本県議に求めたが難しいとの事でした。

4. 施設見学・意見

B棟(男性)の居室、ホール、トイレ、浴室からA棟(女性)の居室、ホール、トイレ、浴室の説明、案内を行う。

事業者側の方からの意見・感想

- 居室・共有スペース(トイレ、浴室)が綺麗で整理されていますね。
- トイレが広く使いやすそう。
- 浴室が明るい。

7. 閉会